



- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 〒135-8722
- 電話お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
- 同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
- 公 告 方 法 当社のホームページ (<http://www.central-uni.co.jp>) に掲載します。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を  
することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

第58期

# 中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当社第58期中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)が終了いたしましたので、ここに事業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。何卒ご高覧の上、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

## 事業の概況 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

### 1. 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、原油等の原材料の値上がりなど懸念要因はあるものの、安定的な企業収益の伸長と設備投資の増加に加え、雇用環境が改善したことから、緩やかではありますが、回復基調で推移いたしました。

当社グループに影響を及ぼす医療ならびに医療機関を取り巻く環境は、平成19年4月に「医療費適正化に関する施策についての基本的な方針(案)」が出され、病院の経営効率化へ向け、大きく変化しております。

以上のような環境の影響を受け、医療設備、病院内機器等は、病院の設備投資、備品購入予算の抑制により、厳しい状況で推移いたしました。平成19年4月より既設病院向けの営業強化を重視した体制に再構築したことが功を奏し、医療ガス供給設備のメンテナンス契約、設備修理等の掘り起こしができました。病院内の物流管理受託業務、診療材料等の販売なども伸長し、連結売上高は、79億89百万円(前年同期比16.8%増)となりました。一方収益の状況につきましては、医療設備機器の売上が予想以上に減少したことに加え、原材料の値上がりが影響しましたが、医療ガス供給設備のメンテナンス、病院内の物流管理受託業務を中心とする受託事業がそ

れを補い、また、販売管理費の削減を行った結果、前年同期を上回りました。その結果、営業利益は41百万円(前年同期比679.2%増)、経常利益は81百万円(前年同期比8.5%増)、中間純利益は41百万円(前年同期比151.2%増)となりました。

### 2. 品目別売上状況

#### (医療設備)

手術室設備などの医療設備工事の売上が順調に推移いたしました。医療機関の備品購入予算等の削減の影響を受け、代理店向けの医療設備製品が減少し、売上高は30億4百万円(前年同期比14.2%減)となりました。



#### (病院内機器)

経営効率化機器、院内感染防止機器が総じて減少し、売上高は5億58百万円(前年同期比23.0%減)となりました。



代表取締役社長  
増田 順

#### (受託業務)

医療設備を納めている既存病院へのメンテナンス営業を強化したことにより、メンテナンス契約数が伸長いたしました。さらにメンテナンス契約数が増加したことに伴い、設備更新・修理などの提案も積極的に行ったことで、堅調に推移いたしました。

また、病院内における物流管理受託業務についても、急性期病院を中心とした、診断群分類別包括評価(DPC)の拡大、経営の合理化に対する意識の高まりを受け、順調に契約数を伸ばすことができました。

以上の結果、売上高は24億73百万円(前年同期比8.2%増)となりました。



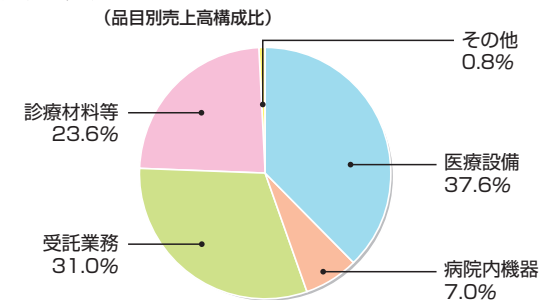
#### (診療材料等)

病院内における物流管理受託業務と合わせ、診療材料の一括調達業務を請け負うことでさらなる病院経営の効率化の提案が受け入れられ、売上高は18億87百万円(前年同期比690.1%増)となりました。

#### (その他)

その他の売上が減少し、売上高は65百万円(前年同期比26.8%減)となりました。

なお、当中間連結会計期間末の受注残高は、84億22百万円となりました。



### 3. 通期(20年3月期)の見通し

通期の見通しといたしましては、原材料価格の高騰など懸念材料はあるものの、企業の活発な設備投資や堅調な個人消費を背景に、景気は引き続き緩やかに拡大していくものと予想されます。一方、医療機関を取巻く環境につきましては、来年度の診療報酬・薬価改定、国の総医療費抑制策がさらに進展し、医療機関にとって厳しくなることが予想されます。これを受け、医療機関は今まで以上に、患者の視点に立った、安全で質の高い医療サービスを維持しつつ、医療サービスの合理化をはかるため、コストマネジメントを強化することが、重要な課題となっております。

また、前年度の設備投資の調達局面を終え、急性期病院を中心とした大型の建築プロジェクト案件が始動するなど、医療機関の機能役割を拡大、強化する動きが顕著化しております。

なお、平成20年3月期の連結業績予想につきましては、売上高240億円、営業利益8億50百万円、経常利益9億円、当期純利益4億50百万円を見込んでおります。

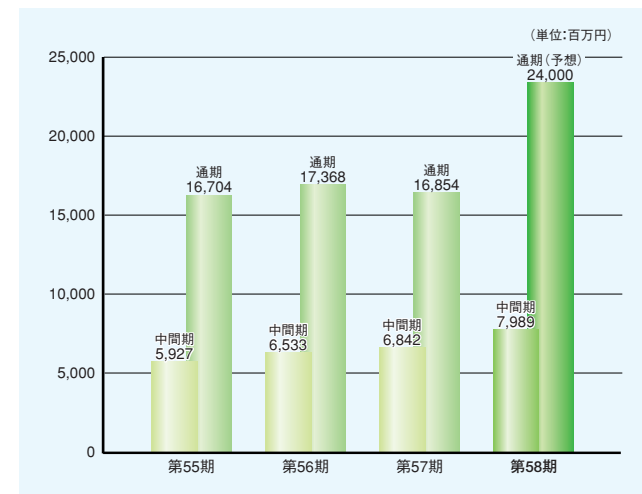
#### ■平成20年3月期業績予想(連結)

(単位:百万円)

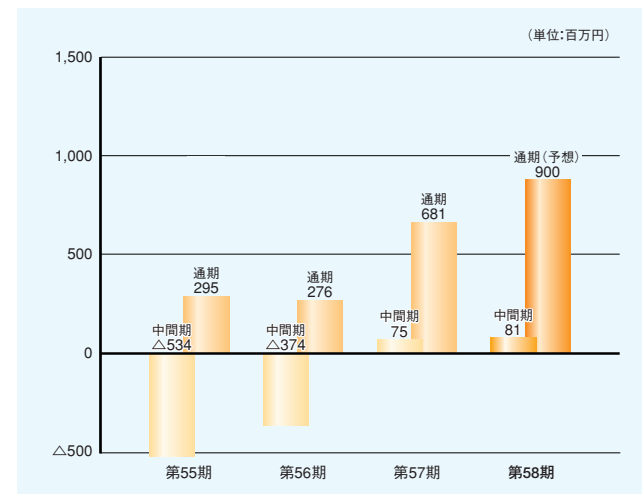
	19/3期 実績	20/3期 予想
売上高	16,854	24,000
経常利益	681	900
当期純利益	364	450
1株当たり利益(円)	29.81	36.79
配当金(円)	10	10

## 業績の推移（連結）

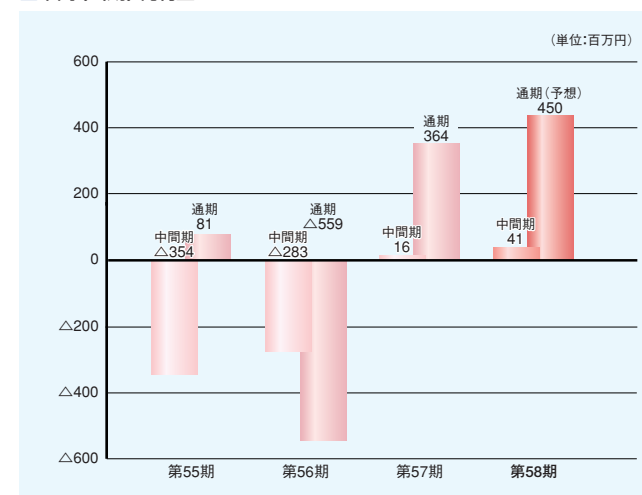
■売上高



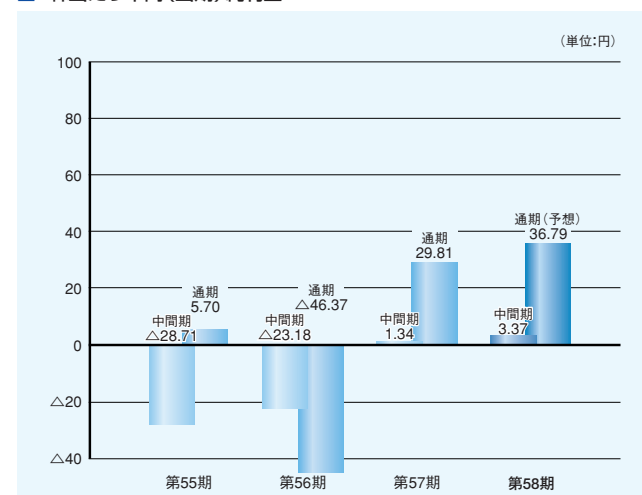
■経常利益



■中間(当期)純利益



■1株当たり中間(当期)純利益



## トピックス

株式会社チェーンマネジメント、株式会社AMCが当社グループに加わりました。市場環境の変化に対応したグループ体制を構築してまいります。

### 株式会社チェーンマネジメント

(平成19年8月31日付で株式会社エフエスユニマネジメントが100%子会社化)



【会社概要】

事業内容：医療用什器備品・器具・消耗品等の輸入・販売、医療用備品・消耗品等の売買取引業務

従業員数：10名

資本金：255百万円

通期売上見込：55億円

※損益計算書の取り込みは下期からとなります。

期待される効果

1. 院外SPD(マネジメントアウトソーシング)を主業務として行い、サービスプロバイダー機能を行うエフエスユニマネジメントと協同で実行できるようになります。
2. DPC対応の個別原価管理や採用品目の標準化等の分析管理業務を顧客に提供することができます。
3. システム及びマスター等の情報共有によりグループ全体のさらなるデータマイニング活用ができます。

### 株式会社AMC

(平成19年9月1日付で株式会社セントラルユニが100%子会社化)



【会社概要】

事業内容：医療設備保守・医療設備工事・医療設備製品の販売

従業員数：7名

資本金：20百万円

通期売上見込：2.5億

※損益計算書の取り込みは下期からとなります。

1. 既存納入先(約500件/6%シェア)に対するリプレイス案件の積極的展開を行うことができます。
2. 既存取引先チャンネル(ディーラー・代行店)を活用したCU製品の拡販によって、商品の幅を広げることができます。
3. メンテナンス契約先(約100件)のグループ内への囲い込みによる医療設備保守点検契約数の拡大ができます。

## 中間貸借対照表(連結)

(単位:千円)

科目	前中間期 (平成18年9月30日現在)	当中間期 (平成19年9月30日現在)
<b>■ 資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>13,373,830</b>	<b>15,936,480</b>
現金及び預金	5,353,833	4,181,812
受取手形及び売掛金	3,715,333	5,893,419
有価証券	—	307,917
たな卸資産	3,219,804	3,493,981
繰延税金資産	416,255	366,167
関係会社預け金	—	1,000,000
その他	672,726	701,672
貸倒引当金	△ 4,122	△ 8,491
<b>固定資産</b>	<b>4,678,009</b>	<b>4,770,381</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,421,601</b>	<b>3,402,789</b>
建物及び構築物	1,374,299	1,278,199
工具器具及び備品	207,347	301,437
土地	1,821,349	1,808,588
その他	18,604	14,564
<b>無形固定資産</b>	<b>275,464</b>	<b>363,216</b>
のれん	—	126,225
その他	275,464	236,991
<b>投資その他の資産</b>	<b>980,943</b>	<b>1,004,375</b>
投資有価証券	394,830	405,486
繰延税金資産	294,604	290,386
その他	295,514	317,063
貸倒引当金	△ 4,007	△ 8,561
<b>繰延資産</b>	<b>731</b>	<b>—</b>
<b>資産合計</b>	<b>18,052,571</b>	<b>20,706,861</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間損益計算書(連結)

(単位:千円)

科目	前中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
売上高	6,842,920	7,989,275
売上原価	4,914,737	6,154,234
売上総利益	1,928,183	1,835,040
販売費及び一般管理費	1,922,851	1,793,499
営業利益	5,331	41,540
営業外収益	80,776	51,082
営業外費用	11,037	11,180
<b>経常利益</b>	<b>75,071</b>	<b>81,442</b>
特別利益	6,027	29,006
特別損失	728	140
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>80,369</b>	<b>110,308</b>
法人税、住民税及び事業税	26,350	118,513
法人税等調整額	40,966	△ 53,435
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 3,358	4,004
<b>中間純利益</b>	<b>16,410</b>	<b>41,225</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結株主資本等変動計算書

当中間期(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日 残高	1,707,000	2,863,065	7,873,790	△ 402,543	12,041,312	39,565	△ 1,232	38,332	86,106	12,165,752
<b>中間連結会計期間中の変動額</b>										
剰余金の配当	—	—	△ 122,316	—	△ 122,316	—	—	—	—	△ 122,316
役員賞与	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中間純利益	—	—	41,225	—	41,225	—	—	—	—	41,225
自己株式の取得	—	—	—	△ 73	△ 73	—	—	—	—	△ 73
自己株式の処分	—	4	—	21	26	—	—	—	—	26
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 2,640	△ 423	△ 3,063	4,074	1,010
<b>中間連結会計期間中の変動額合計</b>	<b>—</b>	<b>4</b>	<b>△ 81,090</b>	<b>△ 51</b>	<b>△ 81,138</b>	<b>△ 2,640</b>	<b>△ 423</b>	<b>△ 3,063</b>	<b>4,074</b>	<b>△ 80,127</b>
平成19年9月30日 残高	1,707,000	2,863,069	7,792,700	△ 402,595	11,960,174	36,924	△ 1,655	35,269	90,180	12,085,624

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:千円)

科目	前中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,356,557	340,606
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 120,048	△ 489,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 277,757	△ 227,343
現金及び現金同等物に係る換算差額	219	△ 6,329
現金及び現金同等物の増減額	958,970	△ 382,224
現金及び現金同等物の期首残高	3,672,380	3,051,842
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,631,351	2,669,618

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間貸借対照表(単独)

(単位：千円)

科 目	前中間期 (平成18年9月30日現在)	当中間期 (平成19年9月30日現在)
<b>■ 資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>10,923,415</b>	<b>10,469,508</b>
現金及び預金	4,484,609	2,473,227
受取手形	1,510,045	1,502,706
売掛金	761,610	695,713
完成工事未収入金	446,330	809,142
有価証券	—	300,375
たな卸資産	2,728,914	2,736,673
繰延税金資産	329,522	278,928
関係会社預け金	—	1,000,000
その他	665,183	673,039
貸倒引当金	△ 2,800	△ 300
<b>固定資産</b>	<b>4,557,986</b>	<b>4,739,705</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,244,942</b>	<b>3,122,853</b>
建物	1,247,866	1,158,319
土地	1,821,349	1,808,588
その他	175,726	155,945
<b>無形固定資産</b>	<b>155,907</b>	<b>127,388</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,157,136</b>	<b>1,489,464</b>
投資有価証券	679,953	816,392
繰延税金資産	229,367	215,417
その他	251,084	460,743
貸倒引当金	△ 3,270	△ 3,090
<b>資産合計</b>	<b>15,481,401</b>	<b>15,209,213</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	前中間期 (平成18年9月30日現在)	当中間期 (平成19年9月30日現在)
<b>■ 負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>3,837,170</b>	<b>3,628,071</b>
支払手形	367,237	340,976
買掛金	944,816	1,335,797
工事未払金	716,923	459,716
1年以内返済予定の長期借入金	80,000	80,000
未払金	70,263	117,070
未払法人税等	12,875	11,980
未成工事受入金	816,942	1,010,627
賞与引当金	133,700	118,000
構造改革引当金	27,131	—
製品自主回収引当金	170,270	—
工事損失引当金	—	9,800
その他	497,009	144,103
<b>固定負債</b>	<b>1,011,563</b>	<b>878,090</b>
長期借入金	460,000	380,000
退職給付引当金	547,746	494,273
役員退職引当金	1,666	1,666
その他	2,150	2,150
<b>負債合計</b>	<b>4,848,734</b>	<b>4,506,161</b>
<b>■ 純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>10,597,986</b>	<b>10,666,127</b>
資本金	1,707,000	1,707,000
資本剰余金	2,863,065	2,863,069
利益剰余金	6,430,330	6,498,652
自己株式	△ 402,408	△ 402,595
<b>評価・換算差額等</b>	<b>34,681</b>	<b>36,924</b>
その他有価証券評価差額金	34,681	36,924
<b>純資産合計</b>	<b>10,632,667</b>	<b>10,703,052</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>15,481,401</b>	<b>15,209,213</b>

## 中間損益計算書(単独)

(単位：千円)

科 目	前中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
売上高	4,224,442	3,480,299
売上原価	2,847,658	2,455,105
売上総利益	1,376,784	1,025,194
販売費及び一般管理費	1,369,079	1,286,688
営業利益又は営業損失(△)	7,704	△ 261,494
営業外収益	64,095	58,175
営業外費用	11,754	12,918
経常利益又は経常損失(△)	60,046	△ 216,236
特別利益	5,230	13,020
特別損失	728	—
税引前中間純利益又は中間純損失(△)	64,547	△ 203,216
法人税、住民税及び事業税	5,848	5,847
法人税等調整額	30,257	△ 81,944
中間純利益又は中間純損失(△)	28,442	△ 127,119

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間株主資本等変動計算書

当中間期(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

(単位：千円)

	株 主 資 本								評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金						利益剰余金合計	
平成19年3月31日 残高	1,707,000	2,863,061	3	2,863,065	243,000	6,000,000	505,087	6,748,087	△ 402,543	10,915,610	39,565	39,565	10,955,175
中間会計期間中の変動額													
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△ 122,316	△ 122,316	—	△ 122,316	—	—	△ 122,316
中間純損失	—	—	—	—	—	—	△ 127,119	△ 127,119	—	△ 127,119	—	—	△ 127,119
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 73	△ 73	—	—	△ 73
自己株式の処分	—	—	4	4	—	—	—	—	21	26	—	—	26
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 2,640	△ 2,640	△ 2,640
中間会計期間中の変動額合計	—	—	4	4	—	—	△ 249,435	△ 249,435	△ 51	△ 249,482	△ 2,640	△ 2,640	△ 252,123
平成19年9月30日 残高	1,707,000	2,863,061	7	2,863,069	243,000	6,000,000	255,652	6,498,652	△ 402,595	10,666,127	36,924	36,924	10,703,052

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# HOSPEX Japan 2007 出展商品のご紹介

私たちセントラルユニグループは「いのちを守る環境づくり」をテーマに、患者さんや医療従事者の方々を、安全にそして効率的にサポートとする未来を創造してまいります。

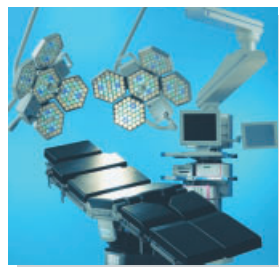
## 当社グループ展示ブース



平成19年11月14日から平成19年11月16日まで東京ビッグサイトにて、「HOSPEX Japan2007」(医療・福祉施設のための専門展示会)が開催されました。

当社グループは急性期医療に向けた高付加価値製品及び物流管理の効率化を可能とする物流管理システム機器等を展示し、多くのお客様に関心をいただきました。

## セントラルユニ展示ブース製品紹介



### iLED (無影灯), JUPITER (手術台)

省電力、長寿命の特性を生かし様々な分野で注目を集めている「LED」。その特性を最大限に生かし、世界初となるシステムで開発された次世代型無影灯です。

## エフエスユニマネジメント展示ブース製品紹介



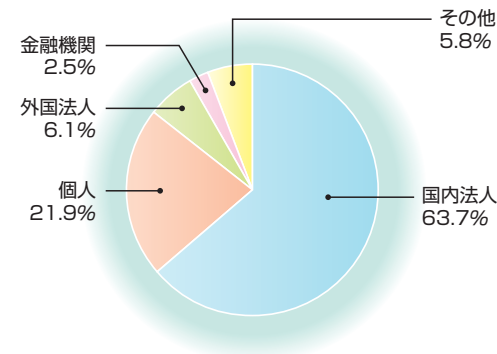
### オムニセル

電子カルテ・オーダリングシステムとリンクし、自動発注から患者別の消費管理など、診療材料・薬品の物流管理の効率化を通じ、病院経営支援に貢献しております。

## 株式の状況 (平成19年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 ..... 20,000,000株
- 発行済株式総数 ..... 12,979,200株
- 単元株式数 ..... 100株
- 株主数 ..... 485名 (前中間期末比 49名増)

### 株式所有者別状況



## 会社の概要 (平成19年9月30日現在)

- 会社名 株式会社セントラルユニ
- 証券コード 7706
- 英訳名 CENTRAL UNI CO.,LTD.
- 代表者 代表取締役社長 増田 順
- 設立 昭和26年9月
- 資本金 17億7千万円
- 所在地 東京都千代田区西神田二丁目3番16号
- 従業員 182名
- 支社 7ヶ所
- 工場 1ヶ所

### 取締役及び監査役

代表取締役社長	古川 久
代表取締役副社長	増田 順
取締役	西元 忠
取締役	細川 賢
取締役	大田 伸
取締役	小川 宏
取締役	藤原 要
取締役	山本 尚
取締役	松尾 靖
取締役	竹原 弘

### 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
グリーンホスピタルサプライ株式会社	6,619,400	51.00
増田投資事業有限責任組合	1,545,100	11.90
増田 貞 満	880,520	6.78
クレディスユーロビークライアントエスビービル	508,000	3.91
セントラルユニ従業員持株会	213,800	1.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	162,000	1.25
増田 順	149,760	1.15
増田 拓 哉	148,200	1.14
増田 聖 哉	148,200	1.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	131,500	1.01

(注) 上記のほか、自己株式が747,650株あります。

### 主要な事業内容(連結)

当社グループは、医療設備機器のメーカーとして製造及び販売を行うほか、病院内物流管理受託業務、医療設備保守受託業務を手がけるなど、機能的で安全な環境づくりを提供しております。

品目別区分	主要品目
医療設備	医療設備工事 医療用ガス供給設備工事、手術室関連設備工事、ICUウォール工事、病室用ウォール工事
医療設備	医療設備製品 湿潤器、吸引器、医療ガス供給設備製品、手術室関連設備製品、ICUウォール製品、病室用ウォール製品
病院内機器	物品管理システム、フードサービス管理システム、ティスインフェクター、注射薬自動払出装置、ユニ・オムニセル
診療材料等	医療診療材料等
受託業務	物流管理 医療材料等の在庫管理、搬送業務の受託
受託業務	医療設備保守 医療設備保守受託業務
その他	医療材料等の販売、サインシステム、福祉・介護関連商品